

第 45 回 日本医学放射線学会秋季臨床大会案内（Ⅱ）

理事長 大友 邦
第 45 回秋季臨床大会会長 佐藤 守男

第 45 回日本医学放射線学会秋季臨床大会を下記の要項で開催致します。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

期 日： 平成 21 年 10 月 29 日（木）～ 31 日（土）

会 場： 和歌山県民文化会館・ホテルアバローム紀の国
TEL: 073-436-1331

大会テーマ：「キャリアアップをめざして」

内 容：

- (1) 教育講演
 - ① 臓器の病態と画像
 - ② FDG-PET
 - ③ 集学的癌治療
 - ④ IVR のエビデンス・リサーチ・教訓症例
 - ⑤ 放射線防護
 - ⑥ 国際学会の発表と英語論文の作成
- (2) 肺癌検診講習会
- (3) マンモグラフィ読影認定医更新講習会
- (4) イメージ・インタープリテーション
- (5) 教育展示
- (6) 一般演題展示
- (7) ランチョンセミナー
- (8) 研修医セミナー
- (9) 市民公開講座

一般演題募集（ポスター展示）

発表形式はすべてポスター展示です。放射線医学の全領域にわたる発表を募集します。内容は研究報告、教育的発表、症例報告などいずれの形式でも結構です。

教育展示募集

発表形式はすべてポスター展示です。今回、テーマは特に設けません。診断、治療、核医学および IVR での教訓的な展示を募集致します。

一般演題・教育展示の募集要項

大会ホームページ <http://www.congre.co.jp/jrs2009/> で募集します。また、要項も掲載しております。ご参照ください。なお、採否は大会長にご一任ください。

一般演題・教育展示の募集期間

平成 21 年 5 月 15 日（金）～6 月 23 日（火）

お問い合わせ先

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学放射線医学教室内

第 45 回日本医学放射線学会秋季臨床大会事務局 園村 哲郎

TEL: 073-441-0605 FAX: 073-444-3110

E-mail: aki@wakayama-med.ac.jp

URL: <http://www.congre.co.jp/jrs2009/>

併設研究会について

頭頸部放射線研究会，電子情報研究会，胸部放射線研究会，救急放射線研究会が併催されます。
各研究会につきましては本号の各会告をご参照ください。

第 23 回 胸部放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第 45 回秋季臨床大会会長 佐藤 守男

期 日：平成 21 年 10 月 30 日（金） 9：00～17：00（予定）
会 場：ホテルアバローム紀の国
〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北 2-1-2
TEL：073-436-1200 / FAX：073-436-8866

<一般演題募集要項> （募集演題が従来と異なっておりますのでご注意ください。）

- 1 a) 一般演題：病理診断まで行われ、画像または病理所見上興味ある症例報告。病理診断の裏付けのない症例報告（先天性疾患、感染症、画像のみの経過 など）も受け付けます。
b) 要望演題：“画像所見がマネジメントに有用であった感染症症例”あるいは“興味ある画像所見を呈した感染症症例”
- 2 演題の応募はインターネットを利用したオンラインによる登録のみとします。
演題応募ホームページアドレス <http://jtrg23.umin.jp/>
演題応募締切：6月30日（火）正午（時間厳守）
- 3 抄録に掲載する画像については以下の規定に従って登録してください。
 - 1) 画像は4点まで掲載できます（病理像の裏付けのない症例報告については掲載なしで可）。
 - 2) 写真は、JPEG形式（グレーモード）で保存してください。
 - 3) データの容量は1点につき、100KB以上、700KB以下で保存してください。
 - 4) 写真解像度は必ず300ピクセル/inchをお願いします。
- 4 演題数が多い場合の採否は当番世話人にご一任ください。
- 5 Journal of Thoracic Imaging への掲載論文として選出された場合には、論文投稿が可能か否かを演題応募時にご選択ください。

<発表形式>

PCをご持参ください。

口演で、主として画像診断と病理診断について討論を行います。病理学的裏付けのない症例についても臨床的に検討いたします。

<連絡先>

- オンライン登録に関するお問い合わせ先
- 登録に関する技術的なお問い合わせ
学会サポートセンター（株式会社セカンド内）
学会担当：坪田 奈々
〒862-0950 熊本市水前寺 4-39-11
TEL：096-382-7796 FAX：096-386-2025
E-mail：jtrg23@higo.ne.jp

● **その他のお問い合わせ**

■ **当番世話人：高橋 雅士**

滋賀医科大学医学部附属病院放射線部

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL: 077-548-2288 (放射線医学講座) 077-548-2536 (読影室)

FAX: 077-544-0986

E-mail: masashi@belle.shiga-med.ac.jp

■ **胸部放射線研究会事務局**

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部放射線医学教室内

TEL: 077-548-2288 FAX: 077-544-0986

E-mail: hqradio@belle.shiga-med.ac.jp

第 22 回 頭頸部放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第 45 回秋季臨床大会会長 佐藤 守男

第 22 回頭頸部放射線研究会を下記の要領で開催致します。

記

期 日：平成 21 年 10 月 29 日（木）9：00 開始予定
会 場：ホテルアバローム紀の国
〒640-8262 和歌山市湊通丁北 2-1-2
TEL：073-436-1200 / FAX：073-436-8866

演題募集要項：

- 1) 頭頸部の画像診断を中心にした研究発表。症例報告も可。
- 2) 下記のメールアドレス宛に、抄録原稿（Microsoft Word 形式）を添付してご送付ください。なお、演題受領の確認メールを事務局からさせていただきます。1 週間以内に返信メールが届かない場合は、事務局までお知らせください。
- 3) 抄録は演題名、演者（発表者には前に○とふりがなを明記）、所属施設名を含めて全 600 字以内でお願いします。フォントは MS 明朝体、サイズは 12 ポイントとしてください。機種に依存する文字のご使用はお控えください。
- 4) 演題数が多い場合の採否は、頭頸部放射線研究会会長にご一任ください。

発表形式：PC（ご持参ください）

演題締切日：平成 21 年 7 月 10 日（金）

応募先メールアドレス：yo-yuko@med.uoeh-u.ac.jp

事務局：〒807-8555

北九州市八幡西区医生ヶ丘 1 番 1 号

産業医科大学 放射線科学教室 興梠 征典

TEL：093-691-7264 FAX：093-692-0249

E-mail アドレス：yo-yuko@med.uoeh-u.ac.jp

お問い合わせは、事務局秘書 吉武 までお願い申し上げます。

第 22 回 電子情報研究会

理事長 大友 邦
第 45 回秋季臨床大会会長 佐藤 守男
世話人: 電子情報委員会 委員長 甲田 英一

期 日 : 2009 年 10 月 29 日 (木) 10:00~16:00
会 場 : 第 45 回日本医学放射線学会秋季臨床大会
ホテルアバローム紀の国
〒640-8262 和歌山市湊通丁北 2-1-2
TEL: 073-436-1200 / FAX: 073-436-8866

電子情報研究会は、日本医学放射線学会の電子情報委員会が主催して行っている研究会です。本研究会は、PACS、医療情報システム、画像読影レポートや遠隔放射線診断などに関連したテーマで研究会を開催します。これらのテーマや特に遠隔画像診断や CD による画像のフィルムレス運用などに関連した一般演題を募集します。

1. シンポジウム 「遠隔画像診断のガイドライン」

放射線専門医会・医会と放射線学会・電子情報委員会の合同委員会で遠隔画像診断ガイドラインを作成しています。遠隔画像診断について、今後の遠隔画像診断のあり方について議論します。また、ガイドライン作成の背景や問題点についても議論します。

2. 一般演題

PACS、医療情報システム、画像読影レポート、遠隔放射線診断や CD による画像のフィルムレス運用などに関連したテーマを募集します。

3. パネルディスカッション 「放射線科医に必要な IT 知識」

放射線部門の PACS 化やフィルムレス化が普及している現状で、放射線科医として最低限知っておくべき IT 知識について、パネルディスカッションを行います。

一般演題の募集： 2009年6月30日 締め切り

事務局へメール（タイトルは『第 22 回 電子情報研究会 演題応募』と明記）で応募してください。以下の項目を必ずご記入ください。演題の採否については、電子情報委員会で決定します。

メール宛先 : ceis@e-rad.jp

演題 :

演者 :

所属 :

抄録 (400~600 字) :

連絡先 e-mail

連絡先 TEL・FAX

電子情報研究会事務局 : ceis@e-rad.jp

〒263-8555 千葉県稲毛区穴川 4-9-1

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 医療情報課内

担当 : 安藤 裕

TEL: +81-43-251-2111 (ex. 6801) FAX: +81-43-206-3245

第 19 回 救急放射線研究会案内

理事長 大友 邦
第 45 回秋季臨床大会会長 佐藤 守男

第 19 回救急放射線研究会を下記の如く開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

期 日：平成 21 年 10 月 31 日（土）
会 場：ホテルアバローム紀の国
〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北 2-1-2
TEL: 073-436-1200 / FAX: 073-436-8866

1. 一般演題
2. 石川メモリアルレクチャー
講師：田島 廣之
「救急疾患の IVR」
3. フィルムリーディングセッション

演題募集要項

(演題の応募はインターネットからのオンライン登録のみとします。)

- 1) 救急放射線医学に関して広く演題を募集します。自慢の症例や痛恨の症例、冷や汗の症例などの症例報告も大歓迎です。明日からの日常診療に役立つ演題を期待しています。
- 2) 抄録原稿 (Microsoft Word 形式) を添付してご送付ください。1 週間以内に返信メールが届かない場合は、当番世話人までお知らせください。
- 3) 抄録は演題名、演者名 (発表者には前に○とふりがなを明記)、所属施設名を含めて全 400 字以内でお願いいたします。フォントは MS 明朝体、サイズは 12 ポイントとしてください。機種に依存する文字のご使用はお控えください。
- 4) 原則として 1 施設 1 演題とさせていただきます。演題の採否は当番世話人にご一任ください。
- 5) プレゼンテーションファイルの作成にあたっては個人情報の保護につき、ご配慮いただきますようお願いいたします。

応募先メールアドレス：qq.radiology@med.osaka-cu.ac.jp

応募受付期間

- ・ 受付開始日時：平成 21 年 5 月 1 日 正午
- ・ 受付終了日時：平成 21 年 6 月 30 日 正午

当番世話人： 中村 健治
大阪市立大学 放射線科
〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-5-7
TEL: 06-6645-3831

ご発表の演題はホームページ上で公開させていただきます。ホームページ上でのファイル検索のため、プレゼンテーションファイルスライドの後にスライドを1枚追加し、キーワードを3つ載せてください。特定の疾患を扱っている場合は、疾患名をキーワードに入れてください。

プレゼンテーションファイルは第三者が閲覧以外の目的で使用したり、ダウンロードできないよう保護させていただきます。

また、ホームページは、会員登録され、パスワードをお受けになった方のみ閲覧いただけます。

なお、先生方がご発表になられた演題の使用に関する権利につきましては、全て先生方に帰属いたします。

何卒ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせにつきましては、救急放射線研究会事務局 jser@marianna-u.ac.jp にてお受けいたします。

【ERセミナーのご案内】

4年間で救急放射線医学の基礎を身につけるために、本研究会の教育プログラムとしてERセミナーを企画しています。その道のプロから現場に即した講義が聞けます。

期 日： 平成21年10月31日（土）

会 場： ホテルアバローム紀の国

テーマ： 「脊椎外傷の画像診断」（担当：江原 茂）

1. 頸椎損傷：検査適応と単純X線検査 大橋健二郎（Iowa大学）
2. 頸椎損傷：CT・MRI診断 稲岡 努（旭川医科大学）
3. 胸腰椎損傷の診断：江原 茂（岩手医科大学）

平成 21 年 日本医学放射線学会総会議事録

日 時:平成 21 年 4 月 16 日(木)14:00~17:00

場 所:パシフィコ横浜・会議センター301

理事長:大友 邦

代議員 249 名中委任状を含めた出席者 247 名で総会が成立することが確認された。定款 31 条の規定により理事長が議長となり、議事録署名人として中條政敬君と野口正人君が指名された。会議に先立ち 21 名の物故者に対して黙祷が捧げられ、山田会長の挨拶の後、議事の進行に入った。

議 案

第1号議案 平成 20 年度事業報告および庶務報告について

第2号議案 平成 20 年度補正予算案および収支決算承認について

第3号議案 財産目録承認について(平成 21 年 2 月末日現在)

第4号議案 平成 20 年度事業計画および収支予算承認について

第5号議案 放射線科専門医規定の改訂について

第6号議案 名誉会員推薦について

第7号議案 次々々期(第 71 回)会長選任について

第1号議案 平成 20 年度事業報告および庶務報告について

遠藤庶務担当理事より平成 20 年度事業報告及び庶務報告について説明がなされた。

A. 事業報告

1. 第 67 回学術講演会を会長松井 修主宰のもとに平成 20 年 4 月 4, 5, 6 日の 3 日間, パシフィコ横浜(横浜市)において開催した。

第 44 回秋季臨床大会を大会長宍戸文男主宰のもとに平成 20 年 10 月 22, 23, 24 日の 3 日間, ビッグパレットふくしま(郡山市)において開催した。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行
日本医学放射線学会雑誌 Radiation Medicine Vol.26 No.1 より逐次刊行した。

3. 第 19 回放射線科専門医認定一次試験を施行(平成 20 年 8 月 22 日)した。

第 17 回放射線科専門医認定二次試験を施行(平成 20 年 8 月 22, 23 日)した。

4. 第 22 回医学物理士認定試験を施行(平成 20 年 9 月 6 日)した。医学物理士の海外派遣を行った。

5. 関連学術集会

生物部会, 地方会(各地方毎に年 2 回~4 回), 講習

会, 第 37 回断層映像研究会, 第 22 回胸部放射線研究会, 第 21 回頭頸部放射線研究会, 第 22 回腹部放射線研究会, 第 20 回骨軟部放射線研究会, 第 18 回救急放射線研究会, 第 21 回電子情報研究会, 第 67, 68 回心臓血管放射線研究会, 第 13 回三次元 CT・MRI 研究会, 第 10 回医用画像認知研究会, 第 33 回医療用標準線量研究会, 第 38 回放射線による制癌シンポジウム, 第 28 回神経放射線ワークショップ, 平成 20 年日英放射線医学協会例会, 第 45 回理工学における同位元素放射線研究発表会, 第 47 回原子力総合シンポジウム等を開催あるいは共催した。また, 生物部会長三橋紀夫君から平成 20 年度事業報告がなされた。

B. 庶務報告

1. 平成 20 年定期総会(代議員会)開催月日および場所
第 67 回総会(代議員会)は平成 20 年 4 月 3 日, パシフィコ横浜(横浜市)で行った。

2. 理事会, 監事会, 委員会開催

理事会は平成 20 年 3 月 24 日, 4 月 3 日, 4 月 6 日, 4 月 28 日, 6 月 23 日, 8 月 23 日, 24 日, 10 月 22 日, 12 月 25 日, 平成 21 年 1 月 26 日, 監事会は平成 21 年 3 月 30 日, 計理事会 9 回, 監事会 1 回を行った。

専門医制度委員会 4 回, 教育委員会 2 回, 編集委員会 2 回, 保険委員 2 回, 放射線防護委員会 2 回, 将来計画委員会 2 回, 医学物理士委員会 3 回, 電子情報委員会 3 回, 広報委員会 2 回, 医療事故防止委員会 2 回, 倫理委員会 2 回, 用語委員会 2 回, 画像撮影委員会 2 回, 学術・研究委員会 1 回, IT 化委員会 2 回を行った。

3. 現在会員数(平成 21 年 2 月末日現在)

平成 19 年度末会員	8083 名
平成 20 年度末会員数	8288 名(新入会員数含む)
平成 20 年度新入会員	352 名
平成 20 年度退会者	126 名
物故会員	21 名
平成 20 年度団体会員	147 社(購読会員含む)

4. 第 21 回優秀論文賞授賞者の選定を行った。

5. 板井研究奨励賞, 日本医学放射線学会研究助成の選定を行った。

6. 関連学術団体との連絡協調

日本医学会, 内保連, 外保連, 日本医師会疑義解釈委員会, 日本専門医認定機構, 放射線治療品質管理機構に連絡員を派遣すると共に, 医学発展のための各種問題につき相互に連絡をとった。

日本医学会評議員:遠藤啓吾君

日本医学会連絡委員:大友 邦君

日本医学会用語委員:早瀬尚文君
日本医学会用語委員代員:田村正三君
日本医師会疑義解釈委員:古井 滋君
内保連委員:井上登美夫君, 土器屋卓志君, 蓮尾金博君
外保連委員:井田正博君, 煎本正博君, 貞岡俊一君
専門医認定制機構:本田 浩君
放射線治療品質管理機構:早瀬尚文君, 伊東久夫君
理工学における同位元素研究発表会及び原子力総合シンポジウム:伊東久夫君
医用原子力研究振興財団線量計校正監理委員会委員:山田章吾君, 伊東久夫君
放射線防護連絡協議会:中村仁信君

第2号議案 平成 20 年度補正予算案および収支決算承認について

A. 補正予算案(別表 1)

補正予算案について栗林会計担当理事より資料に基づき説明がなされ, 了承された.

B. 収支決算(別表 2)

第3号議案 財産目録承認について(別表 3)

収支決算および財産目録について栗林会計担当理事より資料に基づき説明がなされ, 了承された.

第4号議案 平成 21 年度事業計画および収支予算承認について

遠藤庶務理事より平成 21 年度事業計画について説明がなされた.

A. 事業計画

1. 学術講演会の開催

第 68 回総会を会長山田章吾主宰のもとに平成 21 年 4 月 16, 17, 18, 19 日の 4 日間, パシフィコ横浜(横浜市)において開催. 第 45 回秋季臨床大会を大会長佐藤守男主宰のもとに平成 21 年 10 月 29, 30, 31 日の 3 日間, 和歌山県民文化会館, ホテルアパローム紀の国(和歌山市)において開催.

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

名称	Japanese Journal of Radiology
型	A4
頁数	約 100 頁
刊行回数	1 月, 2 月, 4 月, 5 月, 6 月, 7 月, 8 月, 10 月, 11 月, 12 月(年 10 回)
部数	約 8,400

3. 第 20 回放射線科専門医認定一次試験を施行(平成 21 年 8 月 21 日)

第 18 回放射線科専門医認定二次試験を施行(平成 21 年 8 月 21, 22 日)

4. 優秀論文賞受賞者の選定, 板井研究奨励賞受賞者の選定, 日本医学放射線学会研究助成者の選定, 医学物理士の海外派遣の選定を行う

5. 関連学術集会

生物部会, 地方会(各地方毎に年 2 回~4 回), 第 23 回冬季セミナー生涯教育講演会, 第 38 回断層映像研究会, 第 23 回胸部放射線研究会, 第 22 回頭頸部放射線研究会, 第 23 回腹部放射線研究会, 第 21 回骨軟部放射線研究会, 第 19 回救急放射線研究会, 第 22 回電子情報研究会, 第 69, 70 回心臓血管放射線研究会, 第 14 回三次元 CT・MRI 研究会, 第 11 回医用画像認知研究会, 第 34 回医療用標準線量研究会, 第 39 回放射線による制癌シンポジウム, 第 29 回神経放射線ワークショップ, 平成 21 年日英放射線医学協会例会, 第 46 回理工学における同位元素放射線研究発表会, 第 48 回原子力総合シンポジウム等を開催あるいは共催する.

6. その他

B. 収支予算書(別表 4)

栗林会計担当理事より平成 21 年度収支予算について説明がなされ了承された.

第5号議案 放射線科専門医制度の改訂について(資料 1)

本田理事より放射線科専門医制度の改訂について説明がなされ規定改訂について了承された.

第6号議案 名誉会員推薦について

大友理事長より平成 20 年名誉会員推薦について酒井邦夫さかいくに君, 中尾宣夫君なかおのりお, 林 邦 昭君はやしくにあき, 平木祥夫君ひらきよしお, 平敷淳子君へしきあつこ, 増田康治君ますだこうじ, 山本 達君やまもといたる, 海外から Ritsuko Komaki 君, Luka Milas 君の 9 名を推薦する旨報告され了承された.

第7号議案 次々々期(第 71 回)総会会長選任について
遠藤庶務理事より第 71 回会長候補として一人の立候補者があったことが報告され, 第 71 回会長として栗林幸夫君(慶應義塾大学)を推薦する旨, 報告があり承認された. 平成 22 年度開催予定の第 46 回秋季臨床大会は関東地方会より推薦された福田国彦君(東京慈恵会医科大学)を大会長にお願いする旨大友理事長より報告がなされた. また, 今年度開催される第 45 回秋季臨床大会長の佐藤守男君, 次期総会(第 69 回)会長の杉村和朗君から開催にあたり挨拶があった.

平成20年度学会収支補正予算書

平成20年3月1日から 平成21年2月28日まで

単位：円

科 目	補正予算額	当初予算額	増 減
収入の部			
1. 基本財産運用収入	20,000	20,000	-
基本財産利息収入	20,000	20,000	-
2. 会費収入	97,000,000	93,500,000	3,500,000
正会員会費収入	93,000,000	90,000,000	3,000,000
賛助会員会費収入	4,000,000	3,500,000	500,000
3. 事業収入	216,000,000	191,500,000	24,500,000
学術発表会開催収入	150,000,000	130,000,000	20,000,000
雑誌刊行等収入	18,000,000	18,000,000	-
雑誌購読料収入	3,000,000	3,000,000	-
雑誌広告料収入	15,000,000	15,000,000	-
専門認定医事業収入	43,000,000	40,000,000	3,000,000
医学物理士認定事業収入	5,000,000	3,500,000	1,500,000
4. 寄付金収入	5,000,000	5,000,000	-
寄付金収入	5,000,000	5,000,000	-
5. 雑収入	9,700,000	7,200,000	2,500,000
受取利息	200,000	200,000	-
雑収入	9,500,000	7,000,000	2,500,000
6. 特定預金取崩収入	9,500,000	10,500,000	-1,000,000
板井賞基金積立預金取崩収入	500,000	500,000	-
I T化事業費積立預金取崩収入	-	5,000,000	-5,000,000
ガイドライン基金積立預金取崩収入	2,000,000	2,000,000	-
退職給与引当預金取崩収入	4,000,000	-	4,000,000
納税準備引当預金取崩収入	3,000,000	3,000,000	-
当期収入合計	337,220,000	307,720,000	29,500,000
前期繰越収支差額	105,366,868	105,366,868	-
収入合計	442,586,868	413,086,868	29,500,000
支出の部			
1. 事業費	239,600,000	243,600,000	-4,000,000
学術集会費	141,800,000	140,300,000	1,500,000
学術発表会開催費	137,800,000	134,300,000	3,500,000
学術発表会開催準備金	4,500,000	4,500,000	-
学術発表会開催費	130,000,000	125,500,000	4,500,000
学術発表論文賞	300,000	300,000	-
学術発表会開催諸雑費	3,000,000	4,000,000	-1,000,000
委員会会議費	3,000,000	5,000,000	-2,000,000
放射線診療ガイドライン作成事業費	1,000,000	1,000,000	-
雑誌刊行費	54,100,000	58,600,000	-4,500,000
印刷製本費	45,000,000	50,000,000	-5,000,000
通信費	8,500,000	8,000,000	500,000
委託費	500,000	500,000	-
雑費	100,000	100,000	-
専門医認定事業費	26,700,000	26,700,000	-
会場費・運営費	14,000,000	14,000,000	-
印刷製本費	3,000,000	3,000,000	-
専門医教育ガイドライン作成事業費	500,000	1,000,000	-500,000
通信費	2,500,000	2,000,000	500,000
給与費	-	500,000	-500,000
旅費及び交通費	4,000,000	3,500,000	500,000
消耗品費	500,000	500,000	-
専門医認定機構負担金	1,200,000	1,200,000	-
雑費	1,000,000	1,000,000	-
研究奨励助成事業費	5,000,000	5,000,000	-
板井賞受賞費	500,000	500,000	-
医学物理士認定事業費	3,500,000	4,000,000	-500,000
国際交流事業費	1,500,000	2,000,000	-500,000
I T化事業費	5,000,000	5,000,000	-
画像診断コンソーシアム事業費	1,000,000	1,000,000	-
学会歴史編纂事業費	500,000	500,000	-
2. 管理費	62,620,000	58,120,000	4,500,000
人件費	16,000,000	18,000,000	-2,000,000
会議費	4,000,000	4,500,000	-500,000
事務所費	7,500,000	7,500,000	-
通信費	4,000,000	4,000,000	-
旅費及び交通費	620,000	500,000	120,000
消耗品費	1,500,000	2,000,000	-500,000
光熱水費	500,000	500,000	-
租税公課	10,000,000	10,000,000	-
選挙関連費	-	-	-
会員管理委託費	5,000,000	5,000,000	-
支払手数料	6,500,000	4,000,000	2,500,000
雑費	7,000,000	2,120,000	4,880,000
3. 特定預金支出	35,000,000	-	35,000,000
I T化基金積立預金支出	15,000,000	-	15,000,000
国際交流基金積立預金支出	10,000,000	-	10,000,000
国内関連学会事業基金積立預金支出	10,000,000	-	10,000,000
4. 予備費	-	6,000,000	-6,000,000
当期支出合計	337,220,000	307,720,000	29,500,000
当期収支差額	-	-	-
次期繰越収支差額	105,366,868	105,366,868	-

平成20年度 収支計算書

自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
収入の部			
1. 基本財産運用収入	20,000	30,081	10,081
基本財産利息収入	20,000	30,081	10,081
2. 会費収入	97,000,000	99,181,000	2,181,000
正会員会費収入	93,000,000	95,091,000	2,091,000
賛助会員会費収入	4,000,000	4,090,000	90,000
3. 事業収入	216,000,000	219,485,363	3,485,363
学術発表会開催収入	150,000,000	150,100,023	100,023
雑誌刊行等収入	18,000,000	19,362,840	1,362,840
専門認定医事業収入	43,000,000	44,442,500	1,442,500
医学物理士認定事業収入	5,000,000	5,580,000	580,000
4. 寄付金収入	5,000,000	11,308,500	6,308,500
寄付金収入	5,000,000	11,308,500	6,308,500
5. 雑収入	9,700,000	10,571,856	871,856
受取利息	200,000	336,355	136,355
雑収入	9,500,000	10,235,501	735,501
6. 特定預金取崩収入	9,500,000	17,464,885	7,964,885
板井賞基金積立預金取崩収入	500,000	502,415	2,415
名簿作成費積立預金	-	735	735
専門医認定積立預金	-	735	735
放射線科啓蒙積立預金	-	735	735
国際交流基金積立預金	-	735	735
IT化事業費積立預金取崩収入	-	735	735
がいのらひ基金積立預金取崩収入	2,000,000	735	-1,999,265
退職給与引当預金取崩収入	4,000,000	4,421,260	421,260
納税準備引当預金取崩収入	3,000,000	12,536,800	9,536,800
当期収入合計	337,220,000	358,041,685	20,821,685
前期繰越収支差額	105,366,868	105,366,868	-
収入合計	442,586,868	463,408,553	20,821,685

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
支出の部			
1. 事業費	239,600,000	246,686,419	-7,086,419
学術集会費	141,800,000	146,880,017	-5,080,017
雑誌刊行費	54,100,000	54,922,277	-822,277
専門医認定事業費	26,700,000	26,101,232	598,768
研究奨励助成事業費	5,000,000	5,000,000	-
板井賞受賞費	500,000	500,000	-
医学物理士認定事業費	3,500,000	5,248,936	-1,748,936
国際交流事業費	1,500,000	1,430,043	69,957
I T化事業費	5,000,000	6,403,914	-1,403,914
画像診断コンソーシアム事業費	1,000,000	200,000	800,000
学会歴史編纂事業費	500,000	-	500,000
2. 管理費	62,620,000	61,672,466	947,534
人件費	16,000,000	15,374,416	625,584
会議費	4,000,000	3,550,305	449,695
事務所費	7,500,000	7,579,044	-79,044
通信費	4,000,000	3,920,458	79,542
旅費及び交通費	620,000	546,850	73,150
消耗品費	1,500,000	1,353,528	146,472
光熱水費	500,000	474,745	25,255
租税公課	10,000,000	9,732,500	267,500
選挙関連費	-	37,160	-37,160
会員管理委託費	5,000,000	4,077,738	922,262
支払手数料	6,500,000	7,060,846	-560,846
雑費	7,000,000	7,964,876	-964,876
4. 特定預金支出	35,000,000	35,175,089	-175,089
専門医認定基金積立預金支出	-	33,642	-33,642
板井賞基金積立預金支出	-	12,907	-12,907
名簿作成費積立預金支出	-	4,729	-4,729
I T化基金引当預金支出	15,000,000	15,044,784	-44,784
が'ト'ラ'ン作成基金引当預金支出	-	37,577	-37,577
退職給与引当預金支出	-	8,882	-8,882
放射線科啓蒙活動基金引当預金支出	-	13,500	-13,500
国際交流基金引当預金支出	10,000,000	10,013,348	-13,348
国内関連学会事業基金引当預金支出	10,000,000	10,000,000	-
納税準備引当預金支出	-	5,720	-5,720
当期支出合計	337,220,000	343,622,367	-6,402,367
当期収支差額	-	14,419,318	14,419,318
次期繰越収支差額	105,366,868	119,786,186	14,419,318

平成20年度 財産目録

平成21年2月28日現在

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目		金	額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	138,533	
銀行預金			
普通預金			
	みずほ銀行 根津支店 (一般)	48,626,567	
	みずほ銀行 根津支店 (研究助成)	3,733	
	みずほ銀行 根津支店 (学術總會)	8,036,338	
	みずほ銀行 本郷支店	831	
	みずほ銀行 東京中央支店	664,317	
	三井住友銀行 白山支店 (一般)	6,838,770	
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	209,732	
	千葉銀行 稲毛支店	4,681,840	
	東邦銀行 福島医大病院支店	20,543,924	
定期預金	三井住友銀行 白山支店	10,000,000	
	三井住友銀行 白山支店	2,100,000	
郵便振替貯金			
	(一般00150-5-757915)	4,553,990	
	(一般00140-1-172840)	39,774,263	
	(医学物理士)	6,914,500	
	(学術總會参加費)	7,829,000	
仮払金	總會及び秋季大会開催準備金	4,500,000	
	医学物理士認定機構設立費他立替分	88,393	
未収入金	雑収入他期末未収分	1,743,205	
	流動資産合計		167,247,936
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	10,000,000	
	基本財産合計	10,000,000	
(2) その他の固定資産			
建物	赤門アビタシオン301	3,708,400	
建物附属設備			
	水洗トイレ	630,323	
	室内改装	4,376,369	
	パーチカルブラインド	170,596	
	屋根・外壁・外廊下・軒裏等改修	3,430,270	
	電気設備工事	150,144	
	パーテーション設置工事他	3,692,532	

科 目		金	額	
什器備品	クーラー	121,396		
	ステンレス製看板	28,961		
	セントラルヒーティング	220,720		
	書庫	221,943		
	移動ラック	728,054		
	クーラー	123,990		
	CCDタッチスキャナ	248,301		
	サーバーハードディスク	187,549		
	事務所机・椅子・書庫等一式	2,748,631		
	ノートパソコン一式 (5台分)	689,967		
	事務所電話設備一式	268,275		
	プロジェクター	97,143		
	パソコンPCG-ZIXE/B	107,226		
	パソコンFMVNB80R	88,590		
	書棚	218,975		
	プロジェクターEMP-1826SP	276,607		
	ノートパソコン一式 (3台分)	162,540		
	ソフトウェア	パソコンソフトウェア	117,600	
		会員管理システム	4,104,975	
		会員管理システム開発着手金	5,651,048	
特定預金				
板井研究奨励賞引当預金	みずほ銀行 根津支店	9,437,597		
会員名簿引当預金	みずほ銀行 根津支店	3,511,242		
IT化基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	48,365,284		
ガイドライン作成基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	27,914,745		
専門医認定基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	25,056,610		
放射線科啓蒙活動基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	10,028,377		
国際交流基金引当預金	みずほ銀行 根津支店	20,012,613		
国内関連学会事業基金引当預金	三井住友銀行 白山支店	10,000,000		
退職給与引当預金	みずほ銀行 根津支店	5,603,518		
納税準備引当預金	三井住友銀行 白山支店	569,690		
長期預け金	敷金その他差入分	5,744,000		
	その他の固定資産合計	198,814,801		
	固定資産合計		208,814,801	
	資産合計		376,062,737	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	期末諸費用未払分	27,995,227		
前受金	第68回総会参加事前登録費	5,559,000		
未払法人税等	当年度確定法人税等	7,639,800		
未払消費税等	当年度確定消費税等	1,020,900		
預り金	源泉所得税・住民税預り金	131,428		
	医師賠償責任保険預り金	527,002		
	流動負債合計		42,873,357	
2 固定負債				
	固定負債合計		-	
	負債合計		42,873,357	
	正味財産		333,189,380	
	うち基本金		10,000,000	
	差引正味財産額		323,189,380	

平成21年度学会収支予算書

平成21年3月1日から 平成22年2月28日まで

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
収入の部			
1. 基本財産運用収入	20,000	20,000	-
基本財産利息収入	20,000	20,000	-
2. 会費収入	93,500,000	97,000,000	-3,500,000
正会員会費収入	90,000,000	93,000,000	-3,000,000
賛助会員会費収入	3,500,000	4,000,000	-500,000
3. 事業収入	188,000,000	216,000,000	-28,000,000
学術発表会開催収入	130,000,000	150,000,000	-20,000,000
雑誌刊行等収入	18,000,000	18,000,000	-
雑誌購読料収入	3,000,000	3,000,000	-
雑誌広告料収入	15,000,000	15,000,000	-
専門認定医事業収入	40,000,000	43,000,000	-3,000,000
医学物理士認定事業収入	-	5,000,000	-5,000,000
4. 寄付金収入	5,000,000	5,000,000	-
寄付金収入	5,000,000	5,000,000	-
5. 雑収入	9,200,000	9,700,000	15,009,000
受取利息	200,000	200,000	-
雑収入	9,000,000	9,500,000	-500,000
6. 特定預金取崩収入	7,500,000	9,500,000	-2,000,000
板井賞基金積立預金取崩収入	500,000	500,000	-
I T化事業費積立預金取崩収入	5,000,000	-	5,000,000
カイトライソ基金積立預金取崩収入	2,000,000	2,000,000	-
退職給与引当預金取崩収入	-	4,000,000	-4,000,000
納税準備引当預金取崩収入	-	3,000,000	-3,000,000
当期収入合計	303,220,000	337,220,000	-34,000,000
前期繰越収支差額	119,786,186	105,366,868	14,419,318
収入合計	423,006,186	442,586,868	-19,580,682

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
支出の部			
1. 事業費	237,100,000	234,600,000	2,500,000
学術集会費	142,800,000	141,800,000	1,000,000
学術発表会開催費	137,800,000	137,800,000	-
学術発表会開催準備金	4,500,000	4,500,000	-
学術発表会開催費	130,000,000	130,000,000	-
学術発表論文賞	300,000	300,000	-
学術発表会開催諸雑費	3,000,000	3,000,000	-
委員会会議費	4,000,000	3,000,000	1,000,000
放射線診療ガイドライン作成事業費	1,000,000	1,000,000	-
雑誌刊行費	57,100,000	54,100,000	3,000,000
印刷製本費	48,000,000	45,000,000	3,000,000
通信費	8,500,000	8,500,000	-
委託費	500,000	500,000	-
雑費	100,000	100,000	-
専門医認定事業費	28,200,000	26,700,000	1,500,000
会場費・運営費	15,000,000	14,000,000	1,000,000
印刷製本費	3,000,000	3,000,000	-
専門医教育ガイドライン作成事業費	500,000	500,000	-
通信費	2,500,000	2,500,000	-
旅費及び交通費	4,000,000	4,000,000	-
消耗品費	500,000	500,000	-
専門医認定機構負担金	1,200,000	1,200,000	-
雑費	1,500,000	1,000,000	500,000
研究奨励助成事業費	5,000,000	5,000,000	-
板井賞受賞費	500,000	500,000	-
医学物理士認定事業費	-	3,500,000	-3,500,000
国際交流事業費	2,000,000	1,500,000	500,000
画像診断コンソーシアム事業費	1,000,000	1,000,000	-
学会歴史編纂事業費	500,000	500,000	-
2. 管理費	64,620,000	67,620,000	-3,000,000
人件費	17,000,000	16,000,000	1,000,000
会議費	4,000,000	4,000,000	-
事務所費	7,500,000	7,500,000	-
通信費	4,000,000	4,000,000	-
旅費及び交通費	500,000	620,000	-120,000
消耗品費	1,500,000	1,500,000	-
光熱水費	500,000	500,000	-
租税公課	10,000,000	10,000,000	-
選挙関連費	3,000,000	-	3,000,000
会員管理委託費	10,000,000	10,000,000	-
支払手数料	4,000,000	6,500,000	-2,500,000
雑費	2,620,000	7,000,000	-4,380,000
3. 特定預金支出	-	35,000,000	-35,000,000
専門医認定基金積立預金支出	-	-	-
I T化基金積立預金支出	-	15,000,000	-15,000,000
国際交流基金積立預金支出	-	10,000,000	-10,000,000
国内関連学会事業基金積立預金支出	-	10,000,000	-10,000,000
4. 予備費	1,500,000	-	1,500,000
当期支出合計	303,220,000	337,220,000	-34,000,000
当期収支差額	-	-	-
次期繰越収支差額	119,786,186	105,366,868	14,419,318

平成20年度 正味財産増減計算書

自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日

社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	金	額
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 基本財産運用収入		
基本財産利息収入	30,081	
② 会費収入		
正会員会費収入	95,091,000	
賛助会員会費収入	4,090,000	
③ 事業収入		
学術発表会開催収入	150,100,023	
雑誌刊行等収入	19,362,840	
専門認定医事業収入	44,442,500	
医学物理士認定事業収入	5,580,000	
④ 寄付金収入		
寄付金収入	11,308,500	
⑤ 雑収入		
受取利息	336,355	
雑収入	10,235,501	
経常収益計		340,576,800
(2) 経常費用		
① 事業費		
学術集会費	142,380,017	
雑誌刊行費	54,922,277	
専門医認定事業費	26,101,232	
研究奨励助成事業費	5,000,000	
板井賞受賞費	500,000	
医学物理士認定事業費	5,248,936	
国際交流事業費	1,430,043	
IT化事業費	752,866	
画像診断コンソーシアム事業費	200,000	
② 管理費		
人件費	15,374,416	
会議費	3,550,305	
事務所費	7,579,044	
通信費	3,920,458	
旅費及び交通費	546,850	
消耗品費	1,353,528	
光熱水費	474,745	
租税公課	9,732,500	
選挙関連費	37,160	
会員管理委託費	4,077,738	
支払手数料	7,060,846	
減価償却費	3,175,963	
雑費	7,964,876	
経常費用計		301,383,800
当期経常増減額		39,193,000
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	-	
(2) 経常外費用	-	
経常外費用計		-
当期経常外増減額		-
当期一般正味財産増減額		39,193,000
一般正味財産期首残高		293,996,380
一般正味財産期末残高		333,189,380
II 指定正味財産増減の部		-
III 正味財産期末残高		333,189,380

日本医学放射線学会放射線科専門医制度規程（案）

昭和41年4月1日施行

第1回改正 昭和56年4月3日
第2回改正 昭和62年4月2日
第3回改正 平成元年4月5日
第4回改正 平成4年4月4日
第5回改正 平成11年4月1日
第6回改訂 平成18年4月7日
第7回改訂 平成21年5月1日

第1章 総則

目的

第1条 日本医学放射線学会放射線科専門医制度（以下「専門医制度」）は、優れた放射線科専門医（以下「専門医」）を認定することにより、放射線診療・放射線医学の向上発展に資し、医療および保健衛生の向上ならびに放射線障害を防止し、国民の福祉に寄与することを目的とする。

第2条 専門医とは、放射線診断専門医（以下「診断専門医」）または放射線治療専門医（以下「治療専門医」）の育成のため、その前段階として、診断専門医および治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する放射線科医である。なお、診断専門医、治療専門医に関しては、「放射線診断専門医」規程、「放射線治療専門医」規程に、別途定める。

専門医医師像と役割

第3条 専門医は画像診断（X線、超音波、CT、MRI等）、核医学、インターベンショナルラジオロジー（IVR）、放射線治療の知識と経験を有し、放射線障害の防止に努めつつ、安全で質の高い医療を提供する。

専門医の認定

第4条 日本医学放射線学会（以下「本学会」）の理事長（以下「理事長」）は、放射線科専門医制度委員会（以下「専門医制度委員会」）が適格と認めた者を専門医として認定する。

第2章 専門医

第5条 放射線生物学、医学物理学、放射線防護・安全管理、画像診断学、核医学、IVR、放射線治療学の全般に関して、「放射線科専門医研修ガイドライン」に基づく専門医研修カリキュラムにより3年以上の研修終了後、専門医試験に合格した医師に対して、放射線科専門医の認定証を授与する。

第3章 委員会

第6条 専門医制度の運営のため専門事項を審議する機関として、専門医制度委員会を置く。

- 2 専門医制度委員会は、つぎの各号の委員をもって組織する。
 - (1) 本学会理事会において選出された担当理事
 - (2) 本学会代議員会において選出された候補者の中より、理事長が委嘱した委員
 - (3) 第7条に規定する「地区専門医制度小委員会」の各委員長
 - (4) その他、理事長が必要とする者若干名
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 専門医制度委員会に委員長および副委員長を置く。委員長は第2項第1号の担当理事をもってあて、副委員長は委員長の指名によりこれを定める。
- 5 専門医制度委員会は、委員長が招集するものとする。
- 6 専門医制度委員会は、つぎの各号の業務を行う。
 - (1) 専門医制度の規程・細則の制定ならびに変更に関すること。
 - (2) 専門医総合修練機関（以下「総合修練機関」）および専門医修練機関（以下「修練機関」）の認定に関すること。
 - (3) 専門医試験の受験資格の審査に関すること。
 - (4) 専門医証書の作製、交付に関すること。
 - (5) 専門医更新制度に関すること。
 - (6) 専門医の取消し、およびこれの公表に関すること。
 - (7) 指導管理責任者、研修指導医の認定に関すること。
 - (8) その他の専門医制度に関すること。

第7条 専門医制度委員会は、業務を円滑に遂行するために、下部組織として「専門医カリキュラム小委員会」、「専門医試験小委員会」および「地区専門医制度小委員会」などの小委員会を設置することができる。

第4章 専門医試験と専門医の認定

専門医試験の受験資格

第8条 次の各号の条件をすべて満たした者に専門医受験資格を与える。

- (1) 日本国の医師免許を有すること。
- (2) 医師法（昭和23年法律201号）第3条および第4条の規定に該当しないこと。
- (3) 申請時において、初期臨床研修期間を含め5年以上の臨床経験を有すること。
- (4) 申請時において、3年以上本学会正会員であること。
- (5) 定められた研修期間、研修内容、研修施設等の条件を満たしていること。

研修期間

第9条 専門医受験資格を得るための研修期間は、初期臨床研修期間終了後、総合修練機関または修練機関での3年間以上とする。複数の機関で研修した場合は、研修期間の合計が定められた期間を充足するものであることを証明するに足りる各機関の証明書を必要とする。

- 2 3年間の研修期間のうち、最低1年間は、別途定める総合修練機関において、研修指導医のもとで臨床研修することを必要とする。
- 3 大学院学生、研究生等については、在学期間の一部あるいは全部を研修期間として認めることがある。

研修内容

第10条 専門医受験資格を得るための研修内容は、本学会が認定した研修指導医のもとの、放射線生物学、医学物理学、放射線防護・安全管理、画像診断学、核医学、IVRおよび放射線治療学の全ての分野における研修とする。

- 2 専門医受験資格を得るための研修の内容は、別途定める「放射線科専門医研修ガイドライン」において規定する。

専門医試験の受験手続

第11条 専門医試験を受けようとする者は、別に定める所定の書類に受験料を添えて期日までに、理事長に提出しなければならない。

専門医試験の実施

第12条 理事長は、専門医制度委員会が受験資格を認めた者に対して専門医試験を行なう。

- 2 専門医試験は毎年1回実施され、試験の期日等は本学会のホームページ、学会誌などに公示される。
- 3 受験者には合否の最終決定のみが通知される。
- 4 専門医試験に不合格であった者も、第8条の受験資格を満たしていれば次年度以降も受験資格を有する。

専門医の認定および認定証の交付

第13条 理事長は、専門医制度委員会により専門医として適格と認められた者に対して、本学会理事会の議を経て、専門医と認定し、理事長名の認定証を交付する。

第5章 研修施設

専門医研修施設

第14条 専門医の研修施設は、総合修練機関または修練機関とし、その認定基準は、別途定める専門医総合修練機関認定基準、専門医修練機関認定基準に定める。

第6章 研修指導者

研修指導者

第15条 指導者は、研修教育責任者としての指導管理責任者、指導管理責任者が不在あるいは実務執行不能となった場合にこれを代行する副指導管理責任者、直接指導する研修指導医から構成される。

- 2 指導管理責任者は、専門医を志す者に対する教育の責任者として、研修カリキュラムの策定、研修達成度評価を行う。
- 3 研修指導医は研修指導を行い、研修実績を評価する。

第7章 資格更新・取り消し・再認定

専門医の更新

第16条 専門医は資格取得5年後に更新するものとし、更新に関する必要事項は専門医更

新規程に定める。

第17条 専門医は専門医資格取得後、2年間の研修を経て診断専門医試験または治療専門医試験を受験し、診断専門医または治療専門医の資格を取得しなければならない。

2 専門医資格は、診断専門医または治療専門医資格を取得した時点で、その残存認定期間の有無に拘わらず、更新される。以後、5年毎の診断専門医または治療専門医資格更新により、専門医資格は自動的に更新される。

専門医の取り消し

第18条 専門医として認定された者が、つぎの各号のいずれかに該当する場合、理事長は認定を取消することができる。

(1) 第11条に掲げる文書の記載事項に事実と重大な相違があり、認定医としての資格に欠けると判断されるとき。

(2) 医師の資格を喪失したとき。

(3) 本学会を退会したとき。

(4) 専門医を辞退したとき。

(5) 専門医としての体面を汚すような行為のあったとき。

再認定

第19条 専門医の資格を失った者が再認定を望む場合には、失効理由を添えて理事長へ文書にて再申請を行う。専門医制度委員会は、理事長からの委嘱を受けて再認定に必要と思われる資料の提出を求め、審査し結果を理事長へ報告する。

第8章 規程の改廃

規程の改正

第20条 この規程は、総会の決定により改正することができる。

附 則

1) この改正規程は、平成21年5月1日から施行する。

2) 旧放射線科認定医および旧放射線科専門医1次試験合格者の受験資格の認定

(1) 旧認定医試験により、「放射線科認定医」資格を有し、継続して本学会の正会員である者は、「放射線科認定医」として診断専門医試験または治療専門医試験へ受験申請できる。

(2) 旧専門医試験により、「放射線科専門医1次試験」にのみ合格し、継続して本学会の正会員である者は、「放射線科専門医1次試験合格者」として診断専門医試験または治療専門医試験へ受験申請できる。

(3) 理事長は、申請内容の審査を専門医制度委員会に委嘱する。

(4) 専門医制度委員会は申請内容を審査し、結果を理事長に報告する。